HAPI & HANA の

ワンダフル・マネースクール Lesson 31

DWS

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社　2019年2月7日

Introduction

みなさん、こんにちは、ハピです。みなさんの資産形成を考える上で必要となる金融・経済用語を基礎からご紹介します。
妹のハナと一緒にゆっくり勉強していきましょう！



ハピ

世界初の犬のファンド・マネジャー、
「ワンド・マネジャー」として働く金融のエキスパート。
すべてのお客様にハッピーをお届けするため、
世界中を駆け回ります！



ハナ

お金や経済のことはサッパリわからないけど、
兄のハピにはめっぽう強気。
つみたてNISAが始まったことを知って、「自分も
チャレンジしたーい」とやる気MAXです！

為替 Part3

お兄ちゃん、前の回で為替レートの話が出てきたね。
そもそも、この為替レートはどうやって決まるの？



これまでハナちゃんが学んできた株式や債券と同じように、一言で言えば、
需要と供給が為替レートを動かしているよ。

需要と供給・・・。円を買いたい人たちや、反対に円を売りたい人たちがいて、その人たちの動きが為替レートを動かしているってことね。



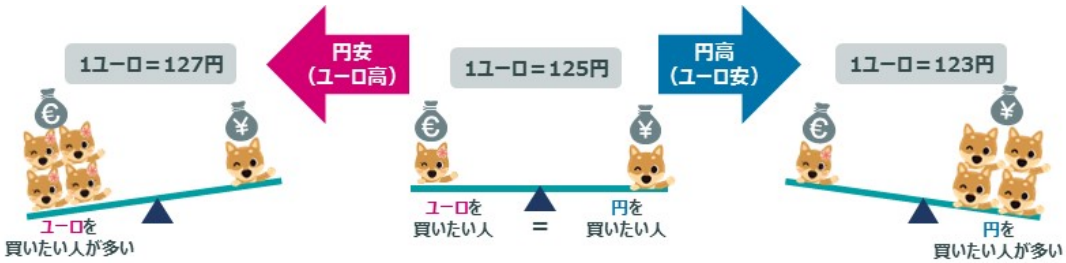
詳しく解説するワン！

外国為替②

為替レート：円高と円安について

いよいよ、「円高」と「円安」について説明するよ。

- 前回のハナちゃんのケースであれば、ハナちゃんは円をユーロに換えたい。その反対に、ユーロを円に換えたい人がいる。外国為替も株式や債券と同様に、人気があればその価値は上がるし、人気がなければ下がる傾向にあるよ。
- 「円高」とは「（交換する対象の通貨に対して）円の価値が上昇する（円が高くなる）」こと、「円安」はその反対で「（交換する対象の通貨に対して）円の価値が下落する（円が安くなる）」ことを意味しているんだ。
- ハナちゃんのようにユーロを欲しい人が沢山いれば、ユーロを持っている人はユーロと円の交換比率を自分にとって有利となるような比率で交換できるようになる、つまり、ユーロの価値が上がって円の価値が下がる（円安／ユーロ高）ということになるんだ。



- 上の図はあくまでイメージだけれど、昨日1ユーロ＝125円で交換できても、今日円を買いたい人が増えて円高（ユーロ安）になれば、123円で1ユーロに交換（２円の円高）できるし、反対に円安になれば、127円出さないと1ユーロが手に入らない（２円の円安）ということなんだ。

※上記説明には金融機関等での手数料等は含んでいません。



URL：https://funds.dws.com/jp/specialsite/moneyschool

次回は「為替 Part4」についてだワン！

ご留意事項

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

●投資信託に係る費用について

【お申込みいただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

■購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 上限3.78%（税抜3.50%）

■換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保額 上限0.5%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・運用管理費用（信託報酬） 上限2.0304%（税抜1.88%）

■その他費用・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

«ご注意»

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託の運用による損益は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

なお、当社では投資信託の直接の販売は行っておりませんので、実際のお申込みにあたっては、各投資信託取扱いの販売会社にお問合せ下さい。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第359号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の情報及び見通しは、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として記載したものであり、その銘柄・企業の株式等の売買を推奨するものではありません。D-190206-7